

# 堺市上下水道事業経営診断書【概要版】

## 堺市上下水道ビジョン 経営管理のしくみ ～計画と実績評価～

### <計画と実績評価のしくみ>

#### 1 上下水道ビジョンの位置付け



堺市マスタープラン（H23年度～R2年度）  
堺市総合計画「堺21世紀・未来デザイン」の基本構想のもと、基本計画と実施計画の要素を併せた都市経営の基本戦略。

堺市国土強靱化地域計画（H28年度～R7年度）  
国の「国土強靱化基本法」及び「国土強靱化基本計画」に基づき、堺市において大規模自然災害が発生した場合、「災害に強い堺市」「災害から素早く立ち直る堺市」として「強靱な地域」をつくりあげるための取組を推進するために作成した計画。

堺市上下水道ビジョン（H28年度～R7年度）  
堺市総合計画「堺21世紀・未来デザイン」の基本構想のもと、マスタープランを下支えする、基本計画と実施計画を併せた水道・下水道事業の基本戦略。投資計画と財政計画からなる中期計画。堺市国土強靱化地域計画（H28年度～R7年度）は本計画と整合が図られている。

単年度実施計画  
堺市上下水道ビジョンを実現するために年度ごとの業務を記載した実施計画。

#### 2 経営診断の目的

上下水道局は上下水道ビジョンの実現に向け、単年度実施計画のもと事業を行っています。この単年度実施計画に対し、上下水道局はPDCAサイクルによるマネジメントを導入しており、経営診断はPDCAサイクルのCheck（評価）として、自己評価と外部評価（懇話会）により実施しています。

#### 3 診断結果の活用

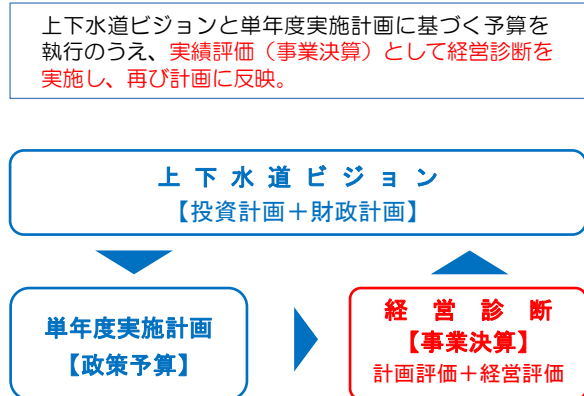
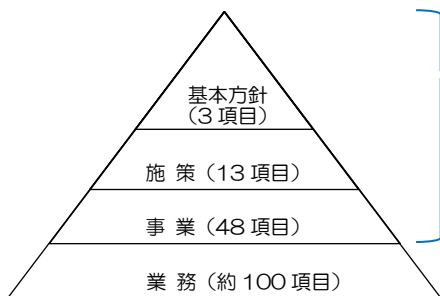
- PDCAサイクルとして診断結果（Check）を、年度後半の取組と次年度の単年度実施計画に反映（Action）します。
- 診断結果を経営診断書にとりまとめ、上下水道局HPにて公表し、市民の方の水道・下水道事業に対する理解と経営の透明性を高めます。

#### 6 実績評価（経営診断）の手法

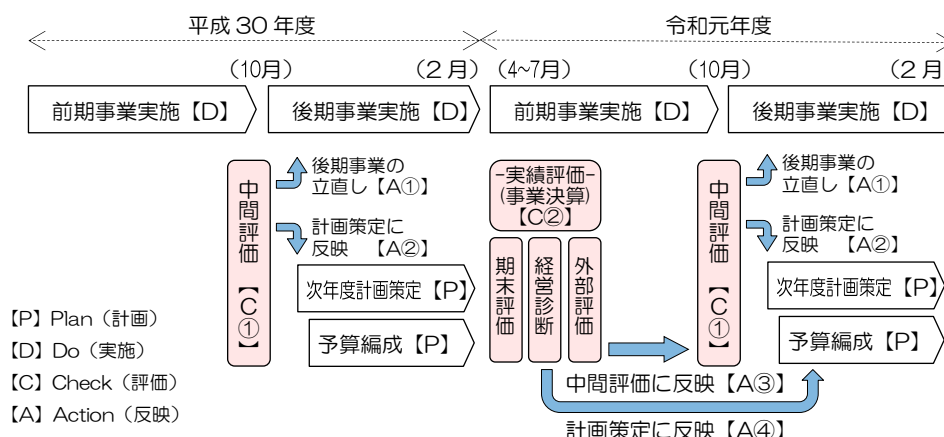
- 決算結果に基づく経営分析（経営指標・財政計画）  
『経営の健全度』を評価
- 単年度実施計画の計画評価  
『計画の進捗度』を評価

#### 4 計画（予算）と実績評価（事業決算）の関係

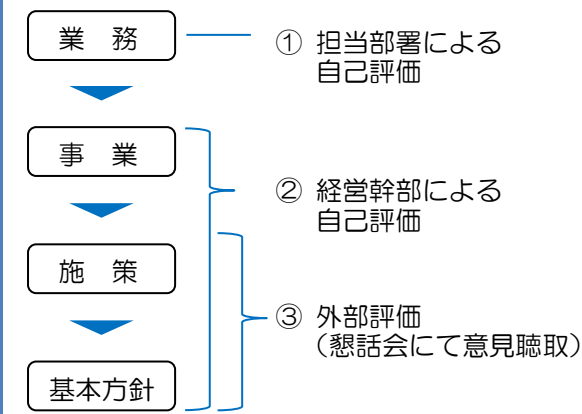
- 【基本方針】
- 安全安心なライフラインの確保
  - 将来に向けた快適な暮らしの確保
  - しんらいを築く堺の上下水道への挑戦



#### 5 実績評価（事業決算）の流れ



#### 7 実績評価（経営診断）の流れ



## 平成30年度 実績評価（事業決算）

### <経営分析>

#### ■水道事業

①収益性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
経常収支比率	%	↑	110.3	109.3	115.7
②安定性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
自己資本構成比率	%	↑	68.9	69.7	67.1
③効率性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
職員一人当たり給水量	㎥/人	↑	541	524	365
④料金					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
給水原価	円/㎥	↓	156.2	156.7	155.5

#### 【懇話会意見】

- 給水量が増加する一方、有収率が低下し、料金収入が微減となっている。堺市は受水費が収益に対し大きな割合を占めており、有収率の改善が長期的な経営の安定につながる。
- 有収率の改善にあたっては、不明水の主な要因である漏水の抑制が欠かせない。上下水道局が設置した「不明水対策検討委員会」にて、実効性のある対策を打ち出していきたい。

#### ■下水道事業

①収益性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
経常収支比率	%	↑	106.7	106.3	107.5
②安定性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
自己資本構成比率	%	↑	47.7	46.9	55.1
③効率性					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
職員一人当たり処理人口	人	↑	4,806	5,111	-
④料金					
	単位	望ましい方向	30年度	29年度	大都市平均H29
汚水処理原価	円/㎥	↓	158.7	160.9	129.8

#### 【懇話会意見】

- 経営改善の取組より、経営状況が着実な改善に向かいつつある点で評価できるが、構造的な問題により、資金状況が厳しく、企業債残高が多額であることが課題である。
- 長期的な企業債借入を減らすため、アセットマネジメント計画による中長期の投資と財政状況の見直しを立て、遊休資産の活用や使用料水準の適正化を含めた経営改革に取り組んでいただきたい。

### <計画評価>

#### 1.安全安心なライフラインの確保

施策名	30年度	29年度
(1) 安全で安心な水道水	A	A
(2) 震災に強いまちの実現	B	B
(3) 雨に強いまちの実現	A	B
(4) 危機管理対策の推進	S	S

#### 2.将来に向けて快適な暮らしの確保

施策名	30年度	29年度
(1) 里道・私道の汚水整備（衛生的に暮らせるまちの実現）	S	A
(2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現	B	A
(3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（施設の維持管理と更新）	B	B
(4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（持続的な企業経営）	B	B
(5) 潤いと活力のあるまちの実現	A	A
(6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現（環境負荷の低減）	A	A

#### 3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

施策名	30年度	29年度
(1) お客さまとのパートナーシップの形成	S	A
(2) 人材育成の充実・運営体制の強化	A	S
(3) 先進的な取組への挑戦	A	A

#### 【懇話会意見】

- 安全安心なライフラインの確保  
「安全安心なライフラインの確保」はほぼ着実に進んでいると評価できる。  
・水道の優先耐震化路線の構築など、重点事業の遅れを取り戻すため、発注方法の見直しや他団体との連携などについても検討されたい。  
・災害を経験して得た課題を今後の対応方針に織り込んだことに加え、自助、共助を高めるために多様な主体との連携を進めたことを高く評価したい。
- 将来に向けて快適な暮らしの確保  
「将来に向けた快適な暮らしの確保」は概ね進んでいると評価できる。  
・経営基盤の強化には、超長期のアセットマネジメント計画を定めるなかで、投資と財政の収支を均衡させることが重要である。
- しんらいを築く堺の上下水道への挑戦  
「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」は積極的に取り組まれていると評価できる。  
・お客さまの上下水道事業に対する理解を深める取組において、広報広聴の取組が社会的に高く評価されている。  
・広域連携は改正水道法にて重点化された分野である。今後こうした国の動向を見ながら、大阪府や周辺市との連携を強化していただきたい。

凡例  
S：計画を超えて達成した    A：計画を達成した  
B：計画を概ね達成した    C：計画を達成しなかった